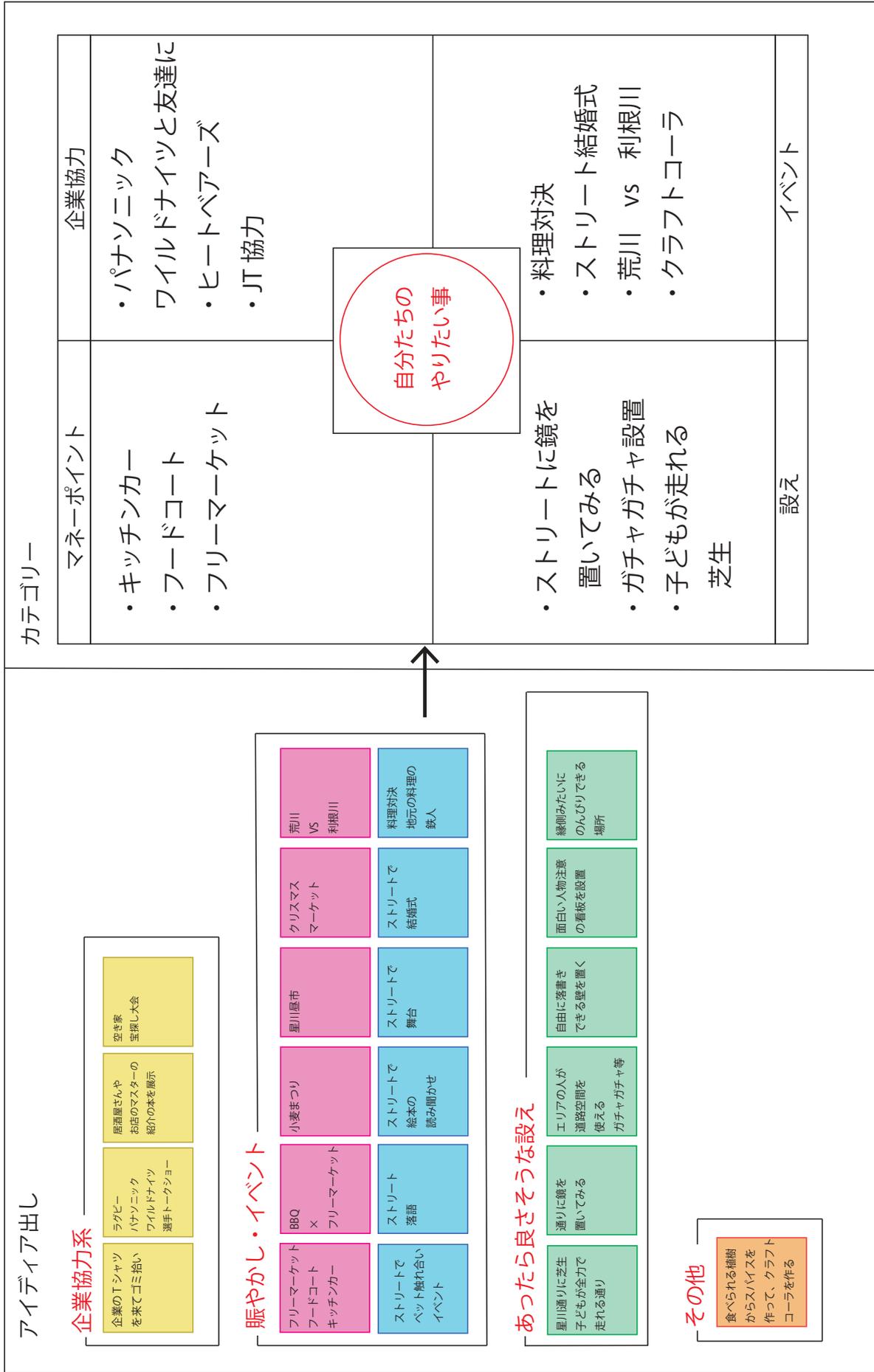


第2回ワークショップ グループワーク結果 ストリートチーム
 テーマ 自分たちがやりたい事ができる地域



第2回ワークショップ グループワーク結果 空き家チーム

体験系スペース

エコなものが見つかる体験教室 (エコバッグ・オーガニックリッピンググロス) reuse タイダイ染め	ものづくりワーキングスペース 木工・家具・3Dプリンタ CAD ロボット作りなど、何でもみんなで作れる
【大人の文化祭】 常設店としてではなく、1回限りとのことなので、テーマは大人の文化祭。店内の商品棚には多くの商品を陳列。可能であればシェアカフェと同時開催。メインターゲットは女性とファミリー。同行する男性向けに2割程度、商品を陳列。	セルフDIYを自分たちでして、第二の家のようなアパートメントを作りたい。屋上はないかもしれないが、気持ちのいいところで焚き火やグランピングなど。 何か用途を限定するのではなく、自分たちでやであることを見つける。

地元の物を売りたい

で当地カップ酒の自販機（夜） コーヒー豆、コーヒーの自販機（昼）	棚に置く商品は地元で活躍しているクリエイターや作品など。※マルシェ等がコロナの影響で中止になっているので、
地球に優しい物しかおいていないお店	農産物直売
個人的には体験系サロンも2階などで行いたい。	
【レトロroman・大正romanaな店内インテリア】 海外のウォークインクローゼットのようないメージで、中心にあった商品棚にメイン商品を陳列。	地元の飲料系（アルコール、ノンアルコール）を商品として太原堂で販売。シェアカフェで購入したドリンクにあったフードを提供。

本が読みたい

みんなの本で作る図書館
街角図書室
おしゃべりしていい図書館 飲食可能（持ち込みOK）

新しいカタチの喫茶店

星川はむでらす
路地を上から見下ろす喫茶店
セルリア喫茶店

集合拠点

家と街 街と家 の間にある場所	【井戸端〇〇】 サロン・・・ママでも どんな年齢の人でも
月額料金で会員になる 拠点を作ってその場所に常に人がいる状態が良い。	学生や若い人たちの交流の創出拠点。 第二の住居。
ゲストハウスの共有ラウンジみたいな	

心理的オープン

外国人の方が日本人コミュニティに入れたらいいのに
Meet up できる空間
老若男女の壁がない

物理的オープン

「何か」やっている... ちよつと気になる... のぞいてみようかな
敷居の高くない雰囲気とデザイン
初めての人でも会話に参加できる
フラットに入れる

無所属

太原堂さんの1階の棚が何かに活かせそう Book	屋上で映画をみたい
毛糸を壁に敷き詰めたい。 カラフル×レトロ 写真映え。	休憩スペース
フォトスペース 2階 コスプレ写真など	空き家再生マップ
	街に出る前に街の様子をどうで見られる 掲示板
	物々交換所

太原堂さんの建物を生かしたい

無所属

第2回ワークショップ グループワーク結果 水路チーム

設備

熊谷は歴史のある街だと思う直美・聖天さま	水辺にベンチを
歴史を学べる場所	音楽流れてたらいいかも
柳がかっこいい詩や俳句の元になりそう	テラス席やベンチでお茶できる
石畳で綺麗	川沿いの空き店舗をオープンカフェに
道そのものは綺麗で歩きやすい展示したり使えそうなスペースがある	屋根やベンチをもっと整備して人が集まれる場所をたくさん作る
川の側面の凹凸が綺麗	とにかく水辺がもっていないベンチの増設や管理が必要
休憩所に日除けになる蔭棚がある暑い夏の対策に良い	もっと草履が必要天気の良いにテラス席として使いたい
駅からの立地そのまま星深園の方まで行ける	熊谷のことを知ることができる情報展示壁面を使う。回室の聖天地へ
所々フォトスポットになりそうな場所が点在している	星川を有効活用すべき。(自由に入れる?)
御像に説明がある長崎平和記念公園の御像を作った方の作品がある	星川の近くに明かりがほしい
足元に「ダルマ」や「うちわ」のタイルがある。さりげなく熊谷のPRしていいgood	綺麗いやすい場所に「うちわ」のタイルや子どもたちの為にアートスペースを。星川と星深園の繋がりがあったら良い

イベント

アート展示	川や星川を渡るイベント 星空ワイン会など
スペースで発表会や展示	キャンドルナイトイベント
川に流灯でライトアップ	水辺のコンサート ピアノ ヴァイオリン
川沿いの空き店舗をオープンカフェに	『キナスに挑戦』世界一長いうどんを作る熊谷小吏を呼んで星川をクルクルと。
川の中でライブ	『キナスに挑戦』ラグビーボールの回(バスでもいいのか、ハチソニックのラグビー選手も参加して観望中)
『リアル金魚すくい』川を綺麗にして金魚を育て、道具を設置して誰でも遊べる	星川に桜を植樹してお花見スポットに
夏季節定 星川に川味を作って、涼を楽しくビアガーデン	星川をクマガイソウの各所に
川にキャンドル→水辺でランチ	星川でプロジェクションマッピング
川のコミ拾い大会	川でスイカやきゅうりを冷やして食べたい
水辺でお茶会	川の中でラグビー大会
川で野菜の水耕栽培	

景観

晴れた日の星川の水面からの景色が良い(曇り夜も)	夜も程よくライトアップされていると良い
道路の真ん中に川が流れているロケーションが良い	
川にすぐ降りてせせらぎを感じられる気持ちよさ	
柳と川が近くに良い。駐車場が近くにあるのもうまく使えそう	
観のエサ売店が良い。	
川幅がある程度あって良い。	

スポット

テイクアウトして飲食を楽しむベンチが必要	子どものたまり場 ママたちのたまり場
水辺で使えるテーブルの貸出し	手ぶらでBBQ 手ぶらでピクニック プチグランピング を水辺で
川沿いの駐車場を芝生の公園に。ランチやヨガを楽しむような。	子どもが水鉄砲で遊べる場所
ピクニックスペース 唐心地よくして 子ども楽しめる場所	子どもが遊べる川 星川の周りをもう 少し綺麗に

付箋の色
ピンク：良いところ
黄色：妄想アイデア

第3回実施項目

カテゴリー	内容
ストリート	第2回でカテゴリー分類したアイデアをもとに、まずは一度実現することを目標に実現可能なアイデアをより具体性を持って議論する。
空き家	第2回でカテゴリー分類したアイデアを、運営者、ターゲット、実施した際に予想できる結果という3つの視点からさらに細分化、実現可能なアイデアを探る。
水路	第2回でカテゴリー分類したアイデアの中から、「自分が本当に実践してみたいこと」「なぜそれをやってみたいのか」「それをやると何が変わるのか」の視点で議論し、チーム間で“思い描く星川”を可視化する作業を行う。

懇親会

ワークショップで利用した熊谷市営本町駐車場屋上で実施。身近にある空間を利用し、他チーム間の交流・情報共有が行われた。



5. 第2.5回 ミーティング

各チーム今までに出してきたアイデアよりも実現に向けて、誰が運営するの、誰に向けて実施するのか、そして熊谷の街にどのような影響を与えるのか等、具体性を持ってアイデア出し、議論を行い、第3回の準備を行った。

ストリートチーム

実施日：令和2年11月9日(月)/13日(金)

場所：シェアカフェエイエイオー

実施内容：課題考察・発表

- ①自分のやりたいテーマ
- ②具体的な案
- ③そうなると熊谷はどうなるのか

◎2.5回ミーティングで出た課題に対する主な意見

①自分のやりたいテーマ

名産DIYストリート

②具体的な案

熊谷名産と言うけれど、ピンときていない。みんなで作るMade In KumagayaをDIYしたい
熊谷小麦を使った風味豊かなヴァイツェンビールを作る。

スパイスを育ててクラフトコーラを作ったり、フルーツのシロップを作成し、ストリート
で乾杯できるようにする。

③そうなると熊谷はどうなるのか

乾杯でつなく。

消費から生産の熊谷へ。

みんなのやりたいをみんなで応援するスタートダッシュストリートへ

空き家チーム

実施日：令和2年11月9日(月)/14日(土)

場所：シェアカフェエイエイオー

実施内容：より具体性を持ったアイデア出し・分類

第2回までに出てきたアイデアを下記項目に当てはめ具体的に考察。分類した。

- ①自分のやりたいテーマ
- ②誰が
- ③誰に
- ④どうなる

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1. やりたいこと	<p>絵本、歴史書のある棚</p> <ul style="list-style-type: none"> 本のシェア、物々交換 本棚の前で写真 どんな人に読んでほしいかポップ オリジナル帯 	<p>いつでも気軽に休みスポット</p> <ul style="list-style-type: none"> 本は無料 フォトスポット 	<p>もう一つの家計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなタイミングで家のみたくないリビング 共有ラウンジ、徹夜可 自分の本を売る 	<p>無駄を出さないお店</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境や健康に良いお店 入れ物持ち込みの測り売り 入れ物あればお弁当が完成 	<p>学生のコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> オンラインではなく 学生に意見を求めたいもの 豆を自分で選ぶ 	<p>セルフコーヒー</p> <ul style="list-style-type: none"> 缶コーヒーよりおいしいもの 豆を自分で選ぶ 	<p>短編の本がある店</p> <ul style="list-style-type: none"> 15分程度で読める本にしぼる 図書館で借りて揃えたり 	<p>ワークスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> 作っているのを見る、コラボ。 一人で家でやるのよりよい 	<p>住みよいまら縁結びの神様</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩モデルコース 地元とお客さんを結ぶ シンボルハウス、休憩、フォト
2. 誰が	みんなでシフト	<ul style="list-style-type: none"> WSメンバーで日替わり週替わり まちを盛り上げたい人 	<p>学生中心、ハウスリーダー</p>	<p>お店の人の協力</p>	<p>学生</p>		ものづくりが好きな人WSメンバー		
3. 誰に	<ul style="list-style-type: none"> 1Fは子供 2Fは普段立ち止まらない人 	<ul style="list-style-type: none"> やる側の負担もあるので土日 フルでやらない 	<ul style="list-style-type: none"> 学生の息抜き、平日の学生 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人は環境意識高い 子育て世代は家事負担減る 高齢者は自分の健康 	<p>立正大学生とか</p>	<p>男性向け</p>	<p>本を買わない人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工学関係者 学生 子供 	<ul style="list-style-type: none"> 近くの若い女子 →ファミリリー→外向け
4. どうなる	<ul style="list-style-type: none"> 通る→立ち止まる一足を運ぶ 水路で本 コーヒー、お菓子で利益 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が人が通る場所になる やっている人が楽しい雰囲気 	<ul style="list-style-type: none"> 夜電気がついていないだけでも違う リビングのサブスク 家で一人でいないように マックが24時間ではなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 星川でピクニック 熊谷といえは環境、健康にしたい(下北の古着とか) 	<p>活気</p>	<p>何かとセットで行きたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本が高くて買えない 本が好きな人の集まり 	<p>プログラミングで子供論理的</p> <ul style="list-style-type: none"> ママが教えられない分野の集まり 	<ul style="list-style-type: none"> 熊谷へ愛着、らしさ 歩いて楽しめるまち

水路チーム

実施日：令和2年11月12日(木)

場所：シェアカフェエイエイオー

実施内容：課題発表・アイデアを可視化

- ①景観・スポット・イベント・設備・水質など様々なアイデアの中で本当に実施してみたいこと
- ②なぜそれをやってみたいのか
- ③それをやると何が変わるのか

◎出された主な意見

①自分が本当に実施してみたいこと

- ・川床のようにテーブルを設置して川に足を着けながら飲食できる場所

②なぜそれをやってみたいのか

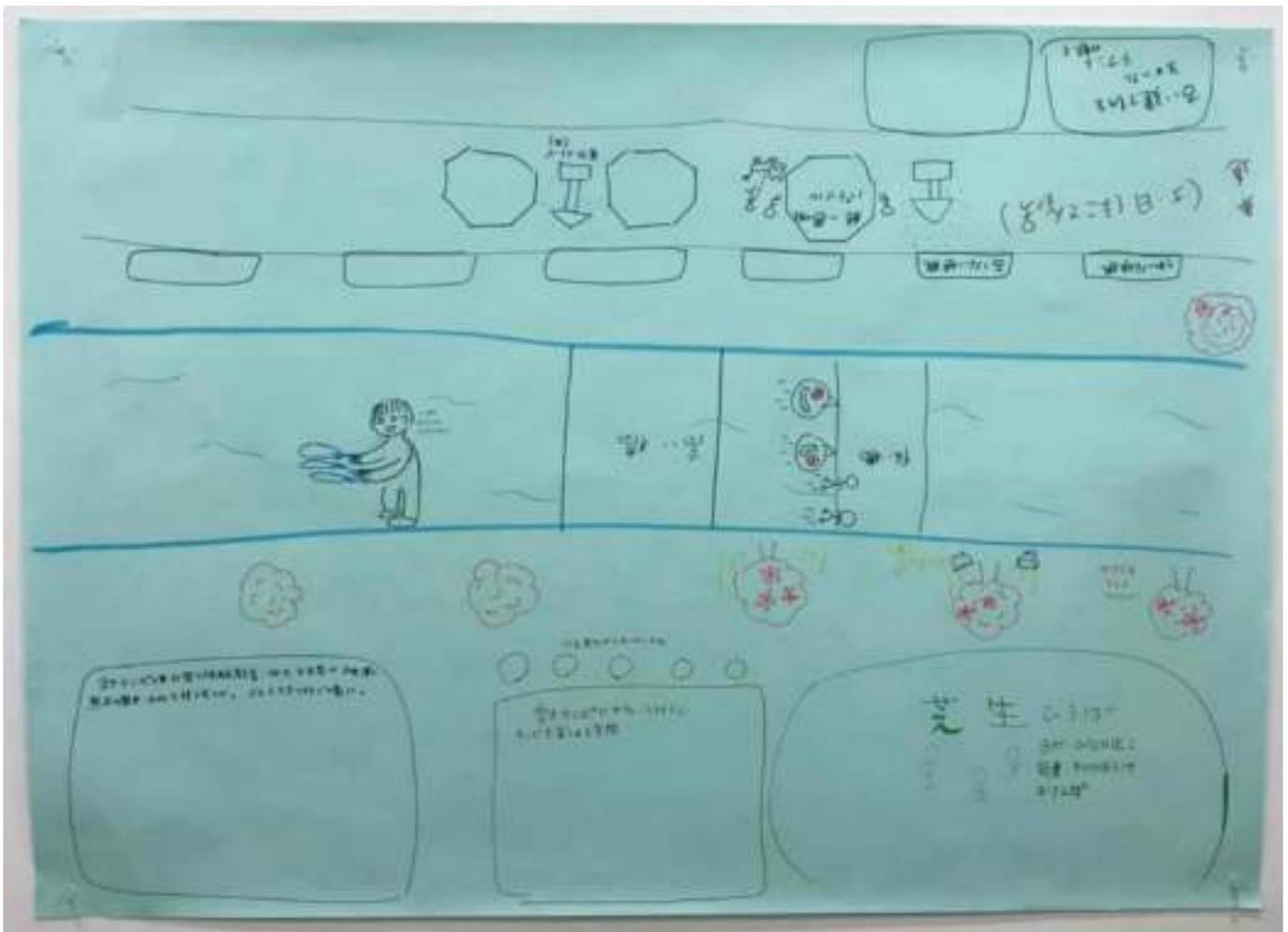
- ・かつての星川のように日常に星川を感じてもらいたい

③それをやると何が変わるのかやってみたいのか

- ・近隣の飲食店や商店街・住人を巻き込むことができるのでは

◎出てきたアイデアを可視化する作業をスタート

様々なアイデアが出た中で、これらを見えるようにしたらわかりやすいのではという意見から、模造紙に記していく作業をスタートした。



6. 第3回ワークショップ

日時：令和2年11月28日（土）

場所：シェアカフェ エイエイオー /熊谷市営本町駐車場会議室

参加者：16名

テーマ：妄想を形にしてみよう

当日の流れ

1. ゲストアドバイザースライドレクチャー：濱西邦和・寺井元一
2. 会議を中心とした各チームによるグループワーク
3. 各チーム発表

ゲストアドバイザー スライドレクチャー

横浜でデザイン事務所を営む濱西氏「発想のヒント」をテーマに過去の成功者の事例からアイデアの生み方をレクチャーを行った。また、第3回はゲストアドバイザー原大介氏が不参加の為、臨時で寺井元一氏が参加。ストリートチームのアドバイザーを務め、レクチャーも行っていただいた。

寺井元一

株式会社まちづくりクリエイティブ代表取締役、アソシエーションデザインディレクター。早稲田大学卒。NPO法人KOMPOSITIONを起業し、アートやスポーツの支援事業を公共空間で実現。まちづくりクリエイティブ起業後はMAD Cityを立ち上げ、地方での魅力あるエリアの創出に挑んでいる。

濱西邦和



寺井元一



第3回 全体概要

2.5回に挙げた案や意見をブラッシュアップし、各チームのコーディネーターがそれをまとめ、3回目では実際に何をするのかを検討した。冒頭ではゲストアドバイザーのレクチャーを受け、成功事例を含めたレクチャー内容と照らし合わせることで、自分たちのアイデアをより具体

的に考えていくきっかけになった様子が見受けられた。各チーム回を追うに従って、最初に出した理想のアイデアよりも、実現可能なアイデアへと移行していく様子が伺えた。

ストリートチーム 結果概要

第2.5回までは「自分たちがやりたいこと」を中心に議論を展開してきたが、まち歩きをした際にストリートにあるベンチの汚れや街のゴミを目にしたこと、熊谷の多様な文化活動に入り込みづらさを感じたことがきっかけで、星川で何かをやりたいというよりも、もう少し広い意味で「星川通りが魅力的な場所であること」が必要であるという結論に至り、同じように地域への関わり方がわからない人を巻き込める企画を実行していくことに決定した。ワークショップから生まれたこの活動が地域の人々を繋ぐ役割を目指していく。

◎目指すべき星川通り

議論を重ねる中で「自分たちがやりたいことをできる」よりも、「星川通りはいつも何かやっていて楽しい」「星川通りに行くといつも誰かと会える」「星川通りはゆったりと時を過ごせる」「星川通りにまた来たくなる」という場になることを望んでおり、その為には何をすべきかを考える方向に変化していった。今までは街は行政が整備するという固定概念に縛られていて、自分たちでは何ができるか想像できなかつたり、お祭りや地場産業など熊谷の多様な文化活動に知らない入りづらい雰囲気を感じていたという意見も多数上がっていた。ワークショップを通して、街のことを考える仲間づくりができたことも一因として、自分たちからアクションを起こして、街の人たちを巻き込んでいくことを目指すこととなった。

◎「積極的にまちを面白がる部活動」

地域に対して関わっていきたいけど方法がわからない方を巻き込んで、地域への関わりしるを作るアクションを起こしていく。街の人の願いを集めて、選択・精査・準備をし、実際に行動に移していく部活動として継続した活動を目指す。

【方法】

- ①星川夜市に掲示板を設置。来場者に星川でやってみたいことを記入してもらう。
- ②部員にて選択・精査・準備を行う。
- ③実行する。 → 12/19(土)実施 第1回部活動
「星川クリーンナップ部」

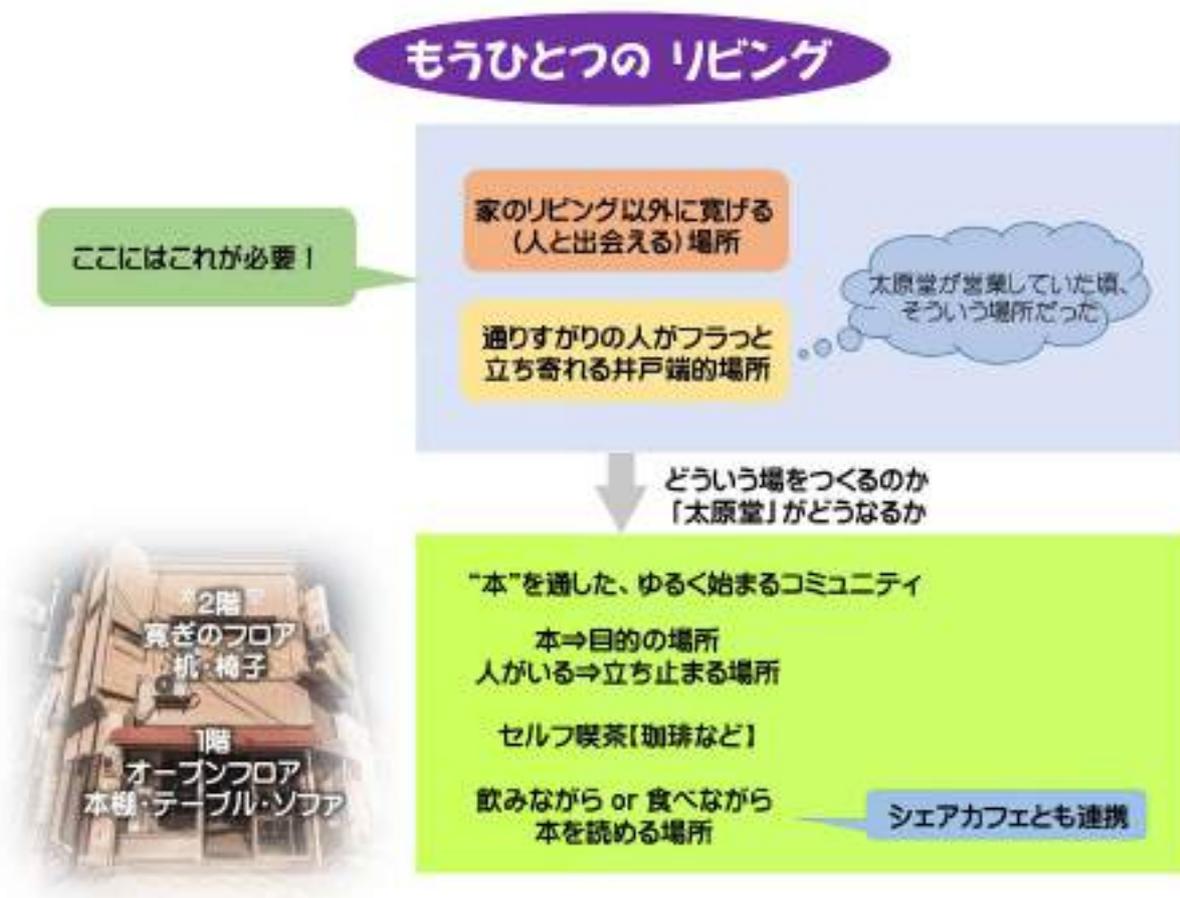


空き家チーム 結果概要

空き家を有効利用するたくさんのアイデアを集結させ、実現生から目的を判断してきた。実際に空き家を利用する企画でも、実際に運営することを考えた時に、誰がどこまで携われるかに焦点を当てた結果、毎日でも関わる事が可能な学生がいたことから、学生を中心に運営していくことを方向性として決定した。

◎太原堂は街のリビング「book apartment」へ

かつて毛糸屋だった「太原堂」は通りすがりの人が気軽に立ち寄ることができる井戸端の場所だったことから、今の星川にもこのような場所が必要だと結論に至った。そこで棚が現在も綺麗に残っていることから、この棚を上手く活用し、様々なカテゴリーの本を配置。向かいにあるシェアカフェとも連携し、そこで購入した物を持ち込むこともでき、図書館や本屋さんではできない作業もできるような空間とし、緩く繋がるコミュニティ創造を目指す。



水路チーム 結果概要

水路チームは議論を重ねた結果、星川や星川周辺を利用した多種多様なアイデアが集まったが、その中でまずは自分たちが考える「思い描く星川」とは何かをを考え、2.5回に引き続きそれを可視化する作業を行い、最終テーマを決定した。

◎ 「思い描く星川」とは

2.5回で下記3つの項目からアイデアを全体で共有

- ① 景観・スポット・イベント・設備・水質など様々なアイデアの中で本当に実施してみたいこと
- ② なぜそれをやってみたいのか
- ③ それをやると何が変わるのか

◎ 2.5回のマップに絵を書き足し「思い描く星川」をマップで可視化



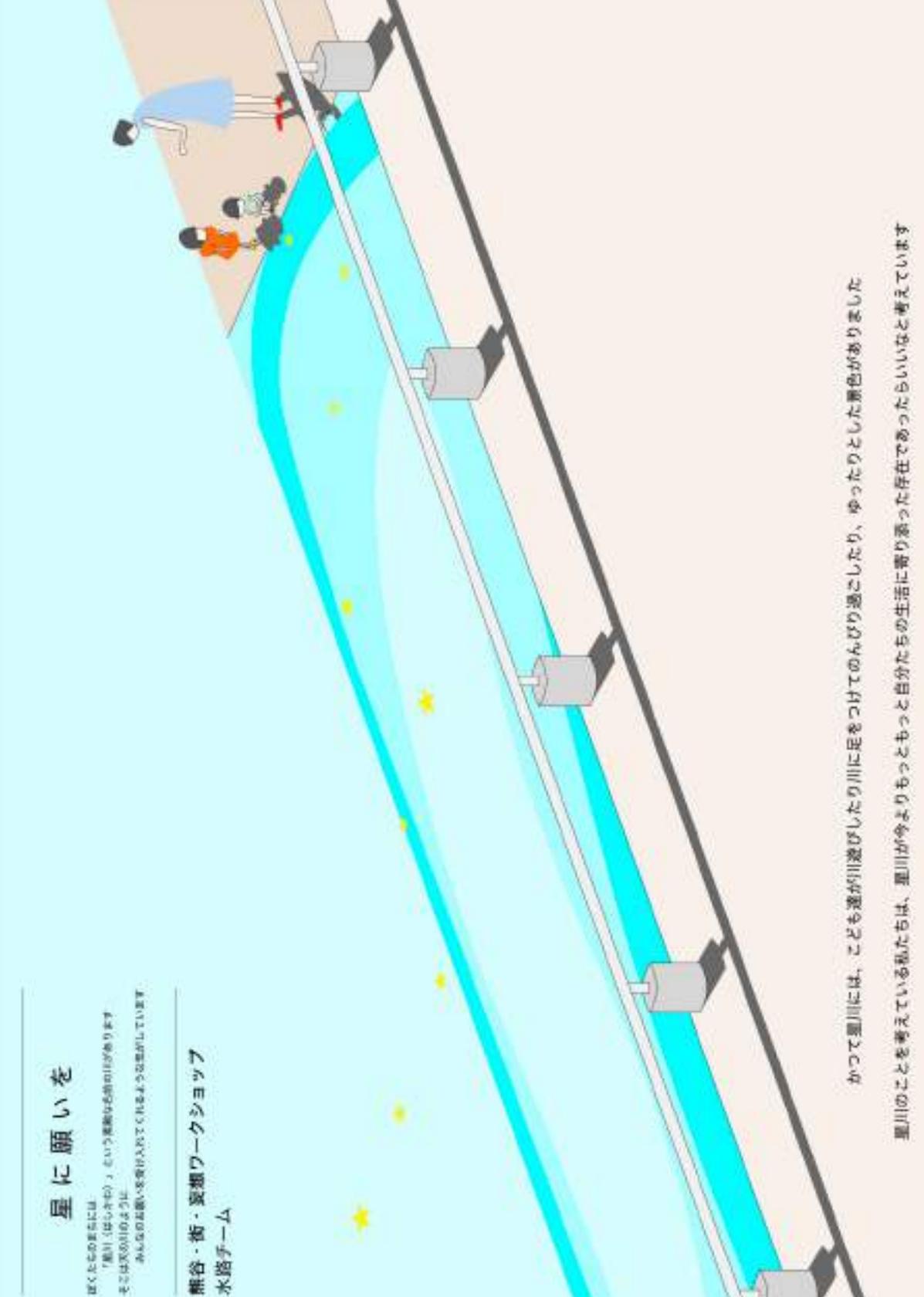
◎ 「星に願いを」

最終的には子供が川に入って遊べる環境作りから始めることが必要と考えた。街の人に川の現状や魅力を再認識してもらうため、人が川にくる仕掛けを作る。方法としては、星川夜市にて、「星に願いを」というタイトルの元、街の人に星形の紙にそれぞれの「想い」を書いてもらい、川に展示する。展示を見に川に足を運んでもらい、星川の状態の改善意識を高める。また、星川のポテンシャルを改めて感じてもらう事も目的とする。

星に願いを

ぼくたちのまちには、
「星川（ほしがわ）」という素敵な名前の川があります。
そこは天の川のように、
みんなの星願いを運んでくれるような場所です。

熊谷・街・変換ワークショップ
水路チーム

An illustration of a river scene. A blue river flows from the top left towards the bottom right. A black bridge with four grey support pillars spans across the river. On the left bank, a woman in a blue dress and two children are looking at the water. The water contains several yellow star-like shapes. The background is a light tan color.

かつて星川には、子ども達が川遊びしたり川に足をつけてのんびり過ごしたり、ゆったりとした景色がありました。
星川のことを考えている私たちは、星川が今よりもっともっと自分たちの生活に寄り添った存在であってほしいなと考えています
そのために、地域とコミュニケーションを取りながら、できることから始めていきます

7. 第3.5回 ミーティング・実践発表準備

ストリートチーム

◎ミーティング

実施日: 令和2年12月9日(水)

場所: シェアカフェエイエイオー

内容: 部活動今後の活動内容について・星川クリーンナップ部の当日スケジュールについて

空き家チーム

◎ミーティング

実施日: 令和2年12月4日(金)

場所: 太原堂

内容: book apartment当日の詳細を確認、今後についても1.【本】 2.【第二の】 3.【糸糸】を軸として、それぞれの取り扱い方、捉え方を議論。

各チーム 発表準備

カテゴリー	実施日	テーマ	内容
ストリート	令和2年12月12日(土) ～ 令和2年12月19日(土)	まちを面白がる部活動 星川クリーンナップ部	<ul style="list-style-type: none"> ・トングの発注 ・ゴミを集めるとモンスターになるデザインゴミ袋の購入 ・星川クリーンナップ部オリジナルロゴを制作 ・ロゴの入ったビブスを発注(清掃時着用) ・ベンチの塗装に使用する塗料を購入 ・星川夜市(12/12実施)にて星川でしたいことを記入してもらう。
空き家	令和2年12月10日(木)	街のリビング “book apartment”	<ul style="list-style-type: none"> ・棚に陳列する本を収集 ・事前に棚に本をレイアウト
水路	令和2年12月12日(土) ～ 令和2年12月19日(土)	星に願いを	<ul style="list-style-type: none"> ・星川夜市(12/12実施)にて星型の用紙に願い事を記入してもらう。 ・近くの商店より置き傘を回収 ・傘に取り付ける星型の用紙を作成

8. 第4回ワークショップ

日時：令和2年12月19日（土）

場所：シェアカフェ エイエイオー

参加者：15名

テーマ：妄想を形にしてみよう（実践）

当日の流れ

1. 各チーム 実践
2. 各チーム 最終発表・講評
3. ゲストアドバイザースライドレクチャー：永田賢一郎

第4回実践テーマ

カテゴリ	テーマ	内容
ストリート	まちを面白いがる部活動	地域への関わり方がわからない方を巻き込んで、地域への関わりしるを作るアクションを起こしていく。第一回は『星川クリーンナップ部』とし、星川周辺の清掃活動、ベンチの塗装を実施する。
空き家	街のリビング“book apartment”	学生が中心になり、太原堂を通りすがりの人がふらっと立ち寄れる井戸端的場所を目指す。建物に残っている棚を再区画し、月貸し。自分だけの本棚でおすすめの本や自作本を販売できるようにする。
水路	星に願いを	星川に足を運んでもらうきっかけとして、願いごとを書いてもらった星型を傘に貼り、川に展示。実際に星川沿いを歩いてもらい、川や周辺の魅力を感じてもらいたい。

ストリートチーム 実践の様子

◎第1回部活動「星川クリーンナップ部」

ゴミ袋を集めると絵柄が現れるデザインゴミ袋や、部活動として一体感が高まる専用のビブスを用意するなど事前準備を行い、実際に街の清掃を行った。関心が集まるような工夫をし、継続した活動を目指す。また、廃れてしまっていた星川通りのベンチを綺麗に塗装する作業も行われた。

◎実際の様子



街を面白い部活動の取り組みとして、星川夜市で実際に掲示板を設置。「星川でこんなことできたらいいな」を募集し、星川夜市に参加した子どもたちを中心に多くの意見をいただいた。(12/12実施)

実際に集まった願い事の一例

- ・商店街活性化 ・ コーヒーで100万人笑顔にする
- ・みんなでご飯を楽しく ・ ジュース飲みたい ・ 友達と一緒に遊びたい

◎今後の取り組み

まちを面白い部活動

- 夜市掲示板で願い事募集掲示板と実行の繰り返し
⇒次回は夜市にテーブルを設置
- 構想から打ち上げまでの部活的コミュニティの醸成
- おもしろがるというおもしろクリエイティブの訓練

クリーンナップ

- 月一に活動
- シャッター、壁画アート受け入れてくれる方の募集
- スポンサーの募集
- グッズの販売